

犬山市文化財保存活用 地域計画 【概要版】



犬山市文化財保存活用地域計画作成の背景と目的

【背景】

犬山市では、人口減少や少子高齢化の進行、人口流動化に伴う地域の歴史文化に対する関心の低下およびコミュニティの希薄化、頻発化・激甚化する大規模自然災害の発生、新型コロナウイルス感染症に伴う生活のあり方の転換など、歴史文化を保存継承するうえで様々な課題が生じています。

【目的】

市内各地に所在する「地域の宝」を次世代に継承するとともに、多様な主体の連携により地域総がかりで取り組み、地域の歴史文化を確実に継承していくとともに、地域活性化につなげるためのマスタープランかつアクションプランとして、犬山市文化財保存活用地域計画を作成しました。

計画期間

計画期間は、令和5年度（2023）から令和14年度（2032）の10年間としますが、本市を取り巻く社会情勢、法令・国の施策及び歴史文化資源の状況等により、計画期間内であっても適宜見直しを図ります。

見直しの結果、計画期間の変更、市町村の区域内に存する歴史文化資源の保存に影響を及ぼすおそれのある変更、本計画の実施に支障を生じるおそれのある変更が生じた場合は、改めて文化庁長官による認定を受けます。

そのほか、軽微な変更が発生した場合は、愛知県及び文化庁に情報提供するものとします。

指定等文化財件数（令和5年8月末時点）

令和5年（2023）8月末時点における本市内の指定等文化財は、国指定25件、県指定8件、市指定37件、国登録151件、合計221件あります。

	有形文化財								無形文化財		民俗文化財		記念物					文化的景観	伝統的建造物群	合計	
	建造物	美術工芸品							民俗芸能	工芸技術	有形の民俗文化財	無形の民俗文化財	遺跡	名勝地	動物	植物	地質鉱物				
		絵画	彫刻	工芸品	書跡・典籍	古文書	考古資料	歴史資料													
国指定	15	0	1	1	0	0	0	2	0	0	0	1	3	1	0	1	0	0	0	0	25
小計	19									1		5									
県指定	2	1	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	8
小計	5									2		1									
市指定	0	13	5	13	0	0	0	0	1	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	37
小計	31									1		4									
国登録	151	0							0	0	0	0	0					0	0	151	
合計	206							1	0	4		10						0	0	221	

歴史文化資源とは

本計画では、文化財保護法で定義される「文化財」に加えて、「伝統産業・地場産業」、「歴史的に継承されてきた音や香り」、「古くからの地名」、「方言」などの「文化財」に収まらない、または収まりにくい要素や、古くから水運・交通の要所及び観光地として発展してきた本市を特徴付ける交通・水利施設や歴史文化・観光施設なども対象とします。また、「歴史文化基本構想策定技術指針」において、「文化財と一体となって歴史文化を構成する文化財の周辺環境」として位置付けられる「自然環境」、「周囲の景観」、「文化財を支える人々の活動」、「文化財を維持・継承するための技術」、「文化財に関する歴史資料や伝承（物語）」などについても、それ自体が資源として保存・活用を図るべきものと捉え、それらの総体を「歴史文化資源」と呼称して、未来へ繋げていくことを目的とします。



- …文化財保護法で定義される文化財に収まらない、または収まりにくい要素
- …歴史文化基本構想策定技術指針に例示される「文化財の周辺環境」

歴史文化資源の保存と活用に関する将来像・基本的方向性

本計画では、将来像を「水と緑が育んだ犬山の多様な歴史文化を未来へつなぐ」と定め、将来像を実現し、歴史文化を未来につなぐために4つの基本的方向性を定めます。また、関連するSDGsのゴール達成も意識しながら取組を進めます。



犬山市の歴史文化の特徴

特徴1 古代『邇波』^{にわ}地域の古墳群

木曾川がもたらした肥沃な大地は、水陸の交通の要所として古くから栄え、古墳時代になると、市内には東之宮古墳、青塚古墳などの大型古墳をはじめ、数多くの古墳が築造されました。

犬山市及びその周辺地域は古代『邇波』地域と推定され、現在も各所に古墳が残されています。

特徴3 犬山城と城下町

犬山城は、東西を結ぶ要衝に位置し、軍事上・経済上重要性が高い場所として、その城主には尾張国主の最も信頼する人物がおかれ、成瀬氏が入部した後に現在の「タテ町型城下町」が完成しました。城下町では、犬山祭や町衆文化、伝統産業が現在も受け継がれています。

特徴5 木曾川・入鹿池の治水と利水

木曾川や入鹿池は、地域に豊かな恵みをもたらしてきた一方、洪水による災害が発生しました。

水と深い関わりがある犬山には、用水路やため池など治水や利水に関わる施設が数多く残されており、水にまつわる伝承や物語が数多く伝えられています。

特徴7 歴史文化資源の利用と観光地の整備

「犬山町」では、明治末期から観光客を対象とした遊興地・旅館などが増加し、大正期における鉄道敷設により観光開発が進みました。

また、市内に所在する豊富な歴史文化資源は、古くから観光資源として活用され、観光地犬山としての発展に大きく寄与してきました。

特徴2 戦国の動乱を今に伝える城跡・古戦場

天正12年(1584)の小牧・長久手の戦いの舞台となった犬山城や羽黒城、楽田城などの城跡や青塚古墳を利用した青塚砦、羽黒合戦が行われた八幡林古戦場など、戦国の動乱を今に伝える歴史文化資源が残されています。

特徴4 流通・交通の要衝地

犬山は木曾川を利用した材木や荷物の発着など、物流の要衝地として発展してきました。江戸時代には、木曾街道や犬山街道が整備され、多くの人々が往来しました。木曾川と街道は数多くの人と物を繋ぎ、現在も、路傍に佇む石仏や一里塚、宿場跡の常夜燈などが、道行く人々を見守っています。

特徴6 多様な伝統行事

犬山市内では犬山祭や石上げ祭、大縣神社の豊年祭などの多くの観光客を集める祭りや、虫送り、だんだんもうせ、地域の祭礼など、個性豊かな伝統行事が数多く行われています。これら伝統行事は、人々の祈りや込められた思いを今に伝え、地域の人たちによって大切に受け継がれています。



関連文化財群

市内の多様な歴史文化資源を、キーワードやストーリーによって一つのまとまりとしてとらえることで、わかりやすい情報発信や、周遊ルートの設定など、様々な効果が期待されます。このまとまりを「関連文化財群」と呼び、今回の計画では歴史文化の特徴に基づいて8つの関連文化財群を設定しました。

関連文化財群1 木曽川扇状地に築かれた古代の暮らし

ストーリー

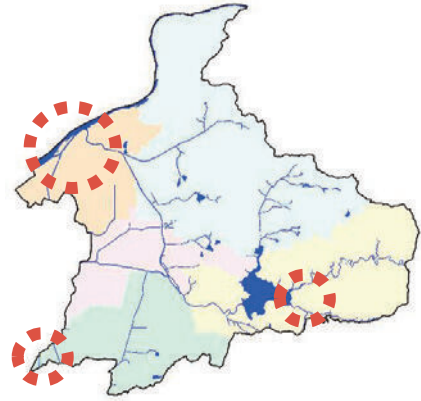
古代『漣波』地域の人々は、木曽川や乱流する派川による洪水の影響を受けながらも、肥沃な大地の恩恵を受け、暮らしを営んできました。開発に伴い無くなったものもありますが、市内には、現在も多くの古墳が残されています。

構成要素

- ・東之宮古墳 ・青塚古墳 ・妙感寺古墳 ・永洞古墳
- ・上野古墳群 ・入鹿池古墳群 ・壺形埴輪 など

措置の内容

- ・埋蔵文化財調査 ・青塚古墳を活用したイベント など



東之宮古墳



青塚古墳

関連文化財群2 風土に育まれた伝統産業

ストーリー

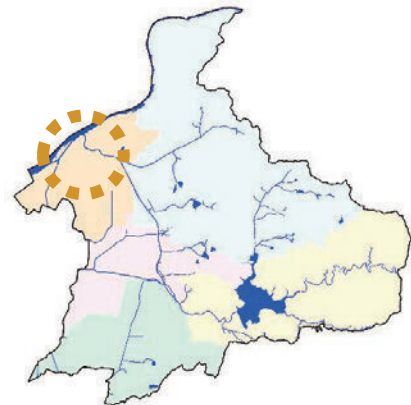
創業から一子相伝で現在まで伝わる「葱苺酒」、成瀬氏の御庭焼として発展した「犬山焼」、幕府の御料鵜飼として始まったといわれる「木曽川犬山鵜飼」などの伝統産業は、木曽川や丘陵地などの恵まれた地勢や領主による庇護のもと生まれ、その技術は現在に至るまで引き継がれています。

構成要素

- ・犬山焼 ・木曽川犬山鵜飼漁法 ・小島家住宅 ・葱苺酒
- ・尾関家住宅 ・絵工道平の墓 など

措置の内容

- ・木曽川犬山鵜飼の継承 など



小島家住宅



犬山焼

関連文化財群3 犬山城下町の整備と発展

ストーリー

尾張第二の城下町へと発展した犬山城下町は、名古屋御城下、熱田奉行支配の熱田、岐阜奉行支配の岐阜と並んで町地としての地位を有するまでに発展しました。

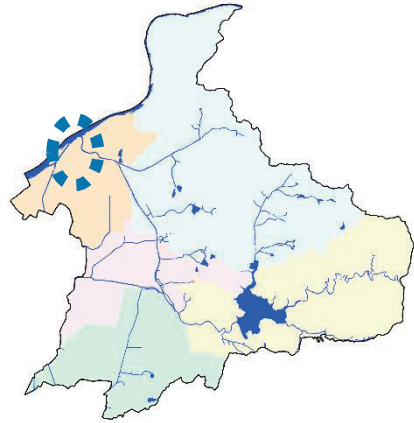
現在、城下町に残る建造物の多くは、町割りとともに往時の面影をよく残しています。また、現在まで引き継がれている犬山祭の舞台となり、祭りの息遣いが感じられます。

構成要素

- ・犬山城天守 ・犬山城城下町（総構え）
- ・大手門枳形跡 ・旧磯部家住宅 ・堀部家住宅
- ・犬山祭 ・車山蔵 ・城下町の寺院 など

措置の内容

- ・犬山城の調査研究 ・文化財防火デーにおける消防訓練 など



犬山城（天守）



犬山城下町

関連文化財群4 木曾川と街道が繋いだ人と物の往来

ストーリー

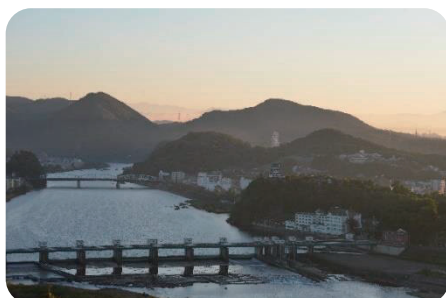
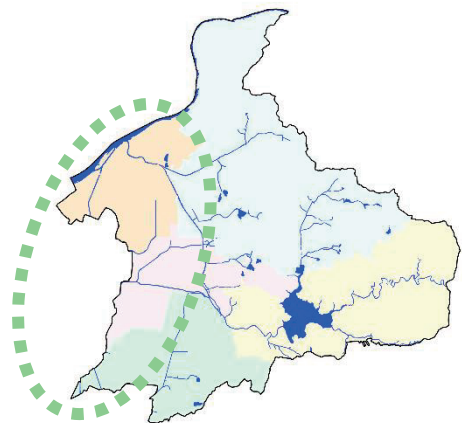
犬山は、古くから物を運搬する流通の要衝地として、また、人が移動する交通の要衝地として重要な役割を果たしてきました。江戸時代には、木曾街道や犬山街道などが整備され、人々の往来を支え、街道は現在も主要な道路として利用されています。木曾川や街道沿いには今も常夜燈や馬頭観音などの歴史文化資源が残り、道行く人々を見守っています。

構成要素

- ・木曾川 ・木曾街道 ・犬山街道 ・岩倉街道 ・巡見街道
- ・織田街道 ・栗栖街道 ・善師野宿 ・内田渡常夜燈
- ・犬山橋 ・一里塚跡（善師野） ・五里塚跡（楽田） など

措置の内容

- ・木曾川河畔の魅力向上 ・歴史文化資源ウォーキングの実施 など



木曾川



一里塚跡（善師野）

関連文化財群5 今も語り継がれる知恵や教訓

ストーリー

犬山では、江戸初期になると、築堤工事や入鹿池の築造などの利水整備により新田開発が進み、地域が発展してきました。その一方で、木曽川の洪水や入鹿切れなどの災害が発生しており、水に対する感謝や畏怖の念を忘れないよう、災害の悲惨さを今に伝える伝承・物語や供養塔などが残されています。

構成要素

- ・木曽川 ・入鹿池 ・入鹿池洪水溺死群霊塔
- ・興禅寺入鹿切れ供養地蔵 ・興禅寺入鹿切れの流石
- ・入鹿切れ（物語） ・やろか水（物語） ・吉野神社
- ・田中天神跡 ・田中天神の森 など

措置の内容

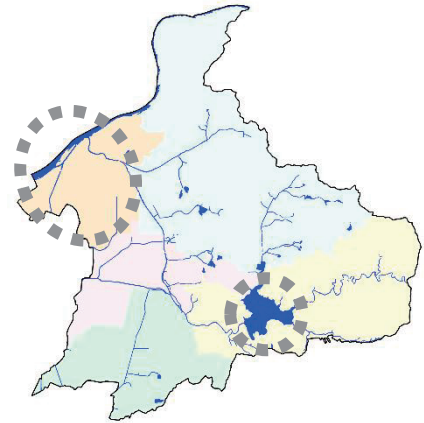
- ・市内歴史文化資源調査 など



入鹿池



入鹿池洪水溺死群霊塔



関連文化財群6 美濃と尾張の国境にのこる群雄割拠の痕跡

ストーリー

美濃と尾張の国境にあたるこの地域では、戦国時代には尾張出身の戦国武将たちが数多く活躍し、今も語り継がれる様々な歴史をつくりあげてきました。また、「小牧・長久手の戦い」では、犬山城や楽田城が秀吉方の陣として利用され、「羽黒合戦」（八幡林古戦場）が行われるなど重要な場所となり、戦国期の動乱を物語る痕跡が多く残されています。

構成要素

- ・犬山城跡 ・羽黒城跡 ・楽田城跡 ・木ノ下城跡
- ・八幡林古戦場 ・物狂い峠 ・野呂塚 ・内久保砦 など

措置の内容

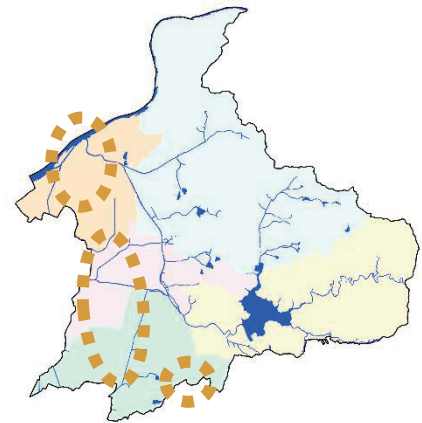
- ・小牧・長久手の戦いゆかりの地域との連携 など



羽黒城跡



楽田城跡



関連文化財群7 今も紡がれる人々の祈り

ストーリー

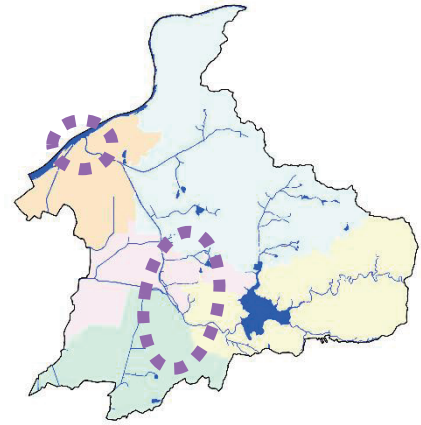
犬山には、巨石を担ぎ尾張富士の頂上を目指す「石上げ祭」、13輦の車山が出され、からくりが奉納される「犬山祭」、尾張二ノ宮の大縣神社で行われ、五穀豊穡を祈願する「豊年祭」のほか、江戸中期まで遡り、各地で行われる「虫送り」や「だんだんもうせ」など、数多くの民俗行事が現在まで守り伝えられています。

構成要素

- ・犬山祭 ・車山 ・虫送り（蝗除祭） ・だんだんもうせ
- ・大縣神社豊年祭 ・鬼まつり ・石上げ祭、火振り神事
- ・二ノ宮稚児山 など

措置の内容

- ・犬山祭山車保存修理補助 ・民俗文化財保存伝承事業 など



犬山祭



石上げ祭

関連文化財群8 文化観光都市犬山の成り立ち

ストーリー

犬山では、明治35年（1902）には観光目的の鵜飼が始まり、その後の木曽川の日本八景への選定、犬山城天守の国宝指定などにより、歴史文化資源を活かした観光都市として多くの観光客が訪れるようになりました。さらには、名古屋鉄道の延線とともにテーマパークなどの観光開発が進み、観光は犬山にとって重要な産業になるまで発展しました。

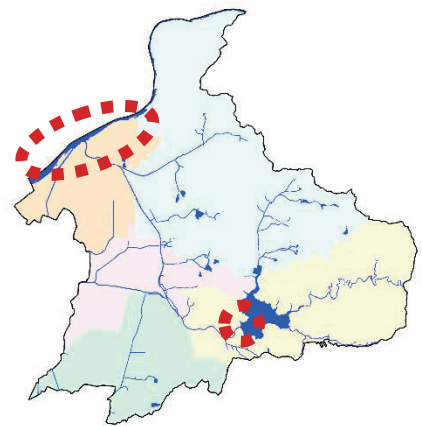
観光産業を支える豊富な歴史文化資源は多くの人を魅了し、訪れる人を迎えています。

構成要素

- ・犬山城 ・犬山城下町 ・博物館明治村 ・若い太陽の塔
- ・如庵 ・旧正伝院書院 ・有楽苑 ・日本ライン ・入鹿池
- ・リトルワールド ・吉田初三郎 ・桃太郎公園 など

措置の内容

- ・犬山城の管理運営 ・歴史文化施設の活用 など



若い太陽の塔



博物館明治村

歴史文化資源の保存・活用の推進体制

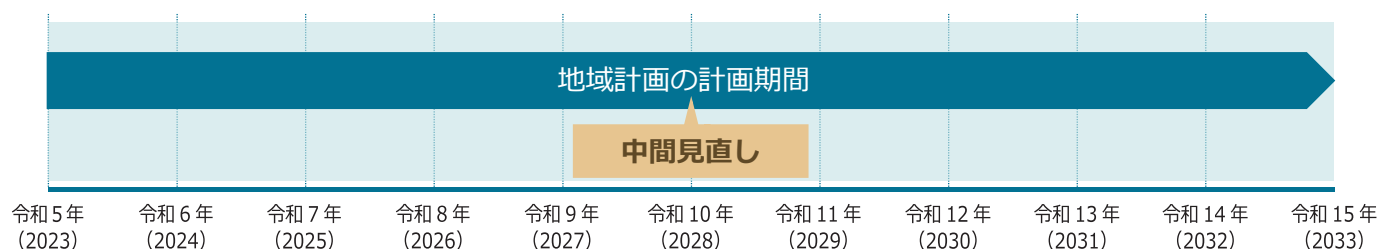
市内には、歴史文化資源の所有者をはじめ、保存または研究に取り組む団体、市内の歴史文化資源を紹介する観光ボランティア団体などがあります。市民や地域の活動団体、専門家、関係施設、歴史文化資源の所有者・管理者が相互に協働・連携を図り、行政がその全体を協力・支援します。



進捗管理

進捗管理は、P D C Aサイクルの考えを取り入れて計画的に実施します。

本計画は計画期間が10年と長期にわたるため、5年経過した時点で中間時点での事業計画の進捗状況を確認します。その結果を踏まえ、事業計画について必要な更新・修正を加え効果的な取組ができるようにします。さらに計画期間経過後は最終的な進捗確認・評価を行い、次期計画作成時の計画立案・事業実施に反映します。



犬山市文化財保存活用地域計画 概要版
令和5年(2023)10月
編集・発行 犬山市